

「光都強度行動障害対応モデル地区」の創設

本県の強度行動障害を有する者に対する支援

国の方針	「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会」報告（R5.3） 強度行動障害を有する者の更なる支援の充実に向けて、人材育成、地域連携 及び日常的な支援体制の整備が必要	
県の方針	集中支援	著しい行動障害の低減のため、(社福)あかりの家で集中的な支援を実施済
	人材育成	強度行動障害支援者養成研修（H26～）及び強度行動障害スーパーバイザー研修（R4～）を実施し、人材育成体制は整備済
	地域連携	地域の行政、医療、福祉、教育等様々な機関との連携や交流により、強度行動障害者が地域と関わりながら生活できる環境を今後整備していく予定

参考：強度行動障害とは

自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態
県内の強度行動障害を有する方 約550人

【県全域】
(社福)あかりの家(高砂市)
 強度行動障害者を集中的に支援

【西播磨圏域】
(社福)愛心福祉会(上郡町)
 スーパーバイザーとして施設を支援

連携

光都周辺には既に様々な支援機関が備わっている

光都強度行動障害対応モデル地区

行政(西播磨1市2町・龍野健福)
 強度行動障害を有する者の支援ニーズを把握
 関係機関の調整、協議会等による支援体制構築

教育機関(西はりま特別支援学校)
 個々の特性を踏まえた教育

障害児支援
(児童発達支援センターたんぽぽ[あいむ])
 予防的支援、成人施設への移行支援

連携

強度行動障害を有する者・家族

(新)強度行動障害対応施設【今回誘致】

強度行動障害を有する者に対応した居住系、通所系、訪問系のサービスを提供
 強度行動障害支援者養成研修修了者を配置

医療機関(西播磨総合リハビリテーションセンター[事業団])
 一般医療/リハビリの提供、総合相談・地域連携

相談支援事業所/基幹相談支援(相談支援事業所にじ[あいむ])
 関係機関との連絡調整、集中支援機関へのつなぎ

光都(西播磨)をモデル地区として、全圏域に強度行動障害の支援体制を構築していく